

現場説明書

1 業務名 追浜公園硬式野球場音響設備改修実施設計業務
2 監督員 建設部公園建設課

説明事項

1. 入札等に関する事項について

- (1) この業務の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、業務委託契約書又は業務委託請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は施行場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

2. 前払金について

前払金 ~~する~~ しない
前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

3. 部分払について

部分払 ~~する(一回以内)~~ しない

4. ~~継続事業に係る業務の各会計年度別支払限度額について~~

- (1) 継続事業に係る業務の各会計年度における委託代金額の支払限度額及び前払金の割合は、次のとおりである。

会計年度	支払限度額 (委託代金額に対する割合)	前払金
初年度(年度)	%	支払限度額・委託代金額の%
第2年度(年度)	%	支払限度額・委託代金額の%
第3年度(年度)	%	支払限度額・委託代金額の%

- (2) 各会計年度における委託代金額の支払限度額は、受託者決定後業務委託契約書を作成するまでに受託者に通知する。

5. 契約に関する事項について

- (1) 設計図書関係
 - ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。
 - イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、受託者の責任において定めること。
 - ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあつては、別冊とすること。
- (2) 提出書類関係
 - ア 委託代金内訳書 ~~要提出(契約締結後7日以内)~~
提出不要
 - イ 工程表 ~~要提出(契約締結後7日以内)~~
~~提出不要~~
 - ウ 着手届 着手後5日以内に提出すること。
 - エ 現場代理人及び主任技術者等届 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。
 - オ 下請負者届 下請負を発注の都度、提出すること。

カ 直 営 工 事 届

下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。

(3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

(4) 支給材料、貸与品関係

ア 支 給 材 料	あり	なし
イ 貸 与 品	あり	なし

(5) 条件変更等の関係

業務の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

(6) 設計変更等の関係

必要により業務内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続を行うが、軽微なものは監督員の指示により業務内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、履行期間の末に行う。

(7) 部分引渡し関係

部分引渡し指定部分	あり	なし
-----------	---------------	----

6. テクリスの登録について

受託者は、受注時又は変更時及び完了時において委託代金額が100万円以上の業務について、測量調査設計業務実績情報サービス(TECRIS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

ただし、建築関係業務においては、対象外となる場合があるので監督員と協議すること。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が受託者に届いた際には、直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) 完了時登録データの提出期限は、業務完了後10日以内とする。
- (3) 施行中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時と完了までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

7. 下請負者について

下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するように配慮すること。

8. 一括下請けの禁止について

受託者は、本業務の全部又は大部分を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

9. 技術的事項について (別紙)

業 務 仕 様 書

(適用範囲)

- 1 本仕様書は、本市の公園事業に係る調査、設計、計画及び解析に関する業務委託（以下、「設計業務等」という。）に適用する。また、その他事項については神奈川県県土整備局発行の「測量・調査・設計業務共通仕様書（平成24年8月）」（改訂等がされた場合は最新版）に準拠するものとする。
- 2 設計図書及び特記仕様書に記載された事項は、本仕様書に優先する。

(用語の定義)

- 1 「指示」とは、監督員が受託者に対し、業務の遂行上必要な事項について書面をもって示し、実施させることをいう。
- 2 「承諾」とは、受託者が監督員に対し、書面で申し出た業務の遂行上必要な事項について、監督員が書面により業務上の行為に同意することをいう。
- 3 「協議」とは、書面により契約図書の協議事項について、委託者と受託者が対等の立場で合議することをいう。

(業務計画書)

- 1 受託者は、契約締結後すみやかに業務計画書を作成し、監督員に提出しなければならない。
- 2 業務計画書の重要な内容を変更する場合は、理由を明確にしたうえで、その都度、監督員に変更業務計画書を提出しなければならない。
- 3 監督員が指示した事項については、受託者は詳細な資料を提出しなければならない。

(主任技術者と編成)

- 1 受託者は、技術業務の班編成とその内容を作成し、監督員に提出のうえ承諾を得なければならない。
- 2 主任技術者は、設計業務等の履行にあたり、技術士（業務に該当する部門）又はこれと同等の能力を有する技術者、あるいはシビルコンサルティングマネージャ（以下、「RCCM」という。）（業務に該当する部門）の資格保有者であり、日本語に堪能でなければならない。
- 3 主任技術者は、監督員の指示する一切の事項を処理するものとする。

(照査技術者)

照査技術者は、設計業務等の履行にあたり、技術士（業務に該当する部門）又はこれと同等の能力を有する技術者、あるいはRCCM（業務に該当する部門）の資格保有者でなければならない。

(事務管理)

受託者は、業務実施にあたり、別に定める適用示方書等を遵守し、常に善良なる管理を行ったうえで業務の方針及び条件について不明確な点又は改善の必要が認められる場合は、協議をしなければならない。

(打合せ)

- 1 受託者は、業務を円滑に遂行するために監督員の指示する箇所など、必要な段階で手戻りのないよう監督員と打合せをしなければならない。
- 2 本仕様書、設計図書及び特記仕様書に記載されていない事項であっても、技術上必要と認められるものについては、監督員と協議するものとする。
- 3 打合せの内容等については、その都度、受託者が打合せ記録簿に記録し、相互に確認しなければならない。なお、連絡は積極的に電子メール等を活用し、電子メールで確認した内容については、必要に応じて打合せ記録簿を作成すること。

(現地調査の土地立ち入り等)

- 1 現地調査を実施するために国有地、公有地または私有地に立ち入る場合は、関係法令に準拠し土地立ち入り等を行わなければならない。
- 2 現地調査の実施にあたり宅地又は、かき、もしくは柵等で囲まれた土地に立ち入る場合は、あらかじめ、その所有者等に通知しなければならない。
- 3 受託者は、植物、かき、もしくは柵等の伐除又は土地もしくは工作物を一時使用する場合は、所有者の承諾を得てから行うものとする。
- 4 現地において、私・公設物等に損害を与えぬよう注意することとし、万一損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告し、受託者の負担において処理しなければならない。

(官公庁等への手続き)

- 1 設計業務等の実施にあたって、必要な関係官庁その他に対する諸手続きは、監督員と打合せのうえ、受託者の負担において迅速に処理しなければならない。
- 2 関係官公庁その他に対して交渉を要するとき、また交渉を受けたい時は延滞なくその旨を監督員に申し出て協議する。

(安全等の確保)

- 1 受託者は、屋外で行う設計業務等の実施にあたり、使用人等に安全対策の指導・監督をしなければならない。また、使用人等だけでなく、通行人、通行車両等の第三者の安全確保に努めなければならない。
- 2 業務履行中に事故等が発生した場合は、所要の措置を講じるとともに、事故の発生原因、経過及び被害の内容について、すみやかに監督員に報告すること。なお、事故等の処理に要する費用は受託者の負担とする。

(資料等の交付及び返還)

- 1 受託者は、貸与する事に定められた図面及びその他関係資料等を監督員に請求し、交付を受けるものとする。
- 2 受託者は、交付された図面及びその他関係資料等は、設計業務等の完了後ただちに返還しなければならない。
- 3 受託者は、貸与された図書及びその他関係資料等を丁寧に扱い、損傷してはならない。万一損傷した場合には、修復に要する費用は受託者の負担とする。

(成果の作成)

受託者は、設計業務等の成果の整理を行う場合は、事前にその内容について監督員と協議するものとする。

(検査)

- 1 受託者は、特記仕様書あるいは、あらかじめ監督員の指示した箇所又は主要な作業段階の区切り目等には、監督員の確認を受けなければならない。
- 2 受託者は、既済部分検査及び完了検査を受ける場合には、あらかじめ成果品及び関係資料等を揃えておくものとし、主任技術者が検査を受けなければならない。

(成果品)

成果品は、本仕様書に定めるもののほか、特記仕様書によるものを提出する。

(秘密の保持)

受託者は、業務内容及びその結果を、監督員以外に公表、貸与又は使用してはならない。なお、やむをえない場合には、文書により申請し、監督員の承諾を得なければならない。

特記仕様書

1 適用

本仕様書は、横須賀市が実施する追浜公園硬式野球場音響設備改修実施設計業務（以下、「本業務」という）に適用する。

2 業務目的

本業務は、追浜公園硬式野球場の音響施設及び非常放送設備等を更新、改修工事を施工するにあたり、詳細設計、音域計算等を行うものである。

3 業務項目及び数量

(1) 現場調査	1 式
(2) 音域計算書作成	1 式
(3) 実施設計図作成	1 式
(4) 概算工事費の算出	1 式
(5) 打合せ（着手時 1 回、中間 1 回、成果品納入時 1 回、ほか必要と認められた場合）	1 式

4 業務内容

(1) スタジアム音響設備

音響アンプ、操作ワゴン、各種スピーカー、ダックアウトコンセント、ワイヤレスアンテナの更新、スピーカーコンセント、映像コンセントの増設、配線の更新及び増設を行う。

塩害地域であることを考慮し、屋外に設置する機器の金属部については粉体塗料＋重耐塩塗装または、溶融亜鉛メッキ＋粉体塗装＋重耐塩塗装等の重塩害仕様とする。

各スピーカーについては高音質、高指向性の機器を設計し、近隣の音漏れをできるだけ軽減できるよう、スピーカー 1 台あたりのカバーエリア及び音量を小さくし、設置角度の検討を行うこと。

1) スタジアム音響アンプ仕様

・機器構成

デジタルパワーアンプ 12 系統、デジタルプロセッサー 16 入力×12 出力、スイッチング HUB、電源制御部、接続端子部、入出力パッチパネルをキャビネットトラックに収納する。音声入力機器、入出力パッチパネル、電源制御器、卓上型リモートコンソール（入力フェーダー×12 / 出力ボリューム×8、館内系統スイッチ×8）は操作ワゴンに収納する。

なお、入出力タッチパネルは、持込機器に対応し、機器不具合時の緊急対応が容易に行える仕様とする。また、キャビネットトラックには指定色塗装を施すこと。（系統数、出力数等は参考の数値とする）

- ・入力電源

パソコン（スコアボード）、CD プレーヤー、外部 BGM 入力、アナウンスマイク、ダックアウトコンセント（ライン及びマイク）× 2 面、ワイヤレスマイク（4 波実装、ハンド型× 4 本、ヘッドセット型× 1 本）とする。アナウンスマイクはカフボックスを設け、音量調整を可能とすること。ワイヤレスマイクは混信対策のためデジタル方式とする。なお、CD プレーヤーはスマートフォン等の音源を放送できるよう、Bluetooth 対応とする。

- ・出力系統

グラウンド用スピーカー、観客席バックネット側スピーカー、観客席内野側スピーカー、観客席外野側スピーカー、スタンド・ダックアウト側スピーカーコンセント、スコアボードスピーカー、館内放送（非常放送アンプと連動）、ライン出力（非常放送アンプと連動）とし、個別に音量が調整できる仕様とする。

- ・その他

スタジアム音響から館内の非常放送設備のスピーカーへ放送できるよう、両設備のアンプ間の連動を行う。スタジアム音響設備からの制御系統は最大 8 グループ以上（スコアボード系統含む）とする。

2) スピーカー

- ・観客席側スピーカー

既存位置のスピーカー 8 台を更新する。バックネット裏スピーカーについては設置高を屋根下付近に移設する。

- ・移動用スピーカー

既存バックネット裏スピーカーを移動用スピーカーに転用し、スピーカースタンドに取り付ける。スピーカーコンセントはダックアウトコンセント（1 塁側及び 3 塁側）、観客席（バックネット裏 2 か所）に設置し、接続ケーブル 6 台程度（リールケーブル 50m 程度）を備品で設計する。

- ・スコアボードスピーカー（非常放送側で更新）

スコアボード側面に設置されている既存非常放送設備のスピーカー 2 台を更新し、スタジアム音響アンプと共用し、かつ単独で音量調整を行えるように変更する。また、スコアボード裏手方向 2 台のスピーカーとは回線を分け、スタジアム音響の放送は流れないようにする。

3) コンセント類ほか

- ・マイクコンセント

放送室内のコンセントを更新、記者席、本部席のマイクコンセントを撤去する。審判員室のマイクコンセントは撤去済みのため、配線のみ撤去とする。

- ・ダックアウトコンセント

1 塁側、3 塁側のコンセントを更新する。ボックスは既存再利用とし、パネル面（マイク入力、ライン入力、スピーカー出力、映像入力、電源）を更新する。指定色塗装を施すこと。

- ・ワイヤレスアンテナ

既存 2 台を更新する。また、必要に応じて観客席側の壁面等に増設するなど、外野でもマイクが使用できるようにすること。なお、ワイヤレスアンテナは指定色を施すこと。

- ・映像機器

ダックアウトコンセント 2 系統に HD-SDI 入力を増設する。既存入力 1 系統と合わせて 3 系統となるため、4 入力の SDI スイッチャーを増設し、スコアボードシステムに接続する。なお、既存 SDI 入力から増設スイッチャーへの接続および増設スイッチャー出力から既存映像設備への接続については、富士通フロンテック株式会社と調整を行うこと。また、備品として、HDMI→SDI 変換器を 1 台（HDMI ケーブル 20m 程度付き）納入する設計とする。

4) 配線

スピーカー、マイクコンセント、ダックアウトコンセント、ワイヤレスアンテナ、アンプ間の配線を更新し、ワイヤレスアンテナ（2 本）、スピーカーコンセント（2 台）の配線を増設する。

(2) 非常放送設備

非常放送アンプ、観客席スピーカー、スコアボードスピーカーの更新及び増設、幹線系統の配線の更新及び増設を行う。塩害地域であることを考慮し、屋外に設置する機器の金属部については粉体塗料+重耐塩塗装または、溶融亜鉛メッキ+粉体塗装+重耐塩塗装等の重塩害仕様とする。

1) 非常放送アンプ仕様

- ・機器構成

プリアンプ、パワーアンプ 480W 以上、回線選択部 20 局、接続端子部、放送中表示器（10 回線）、アッテネーターパネル（4 系統）をキャビネットトラックに収納する。屋外系統はアッテネーターパネル個別に音量調整が行えるものとし、放送中表示器は音響アンプから選択されている回線を表示するものとする。

また、回線選択の優先順位は、同一回線では非常放送側の業務放送を優先するものとし、それ以外の放送については 2 元放送が行えるものとする。なお、非常放送側を優先させる理由については、スタジアム音響アンプに不具合が発生し持ち込み機器で対応を行った際に、非常放送側でスタジアム音響のライン出力を受け、回線選択を行うことを可能とするためである。また、運営としてはスタジアム音響が優先であるため、放送中表示器で非常放送設置場所側から音響アンプの使用状態を確認できる仕様とする。（アンプ容量、回線数等は参考の数値とする）

2) スピーカー

・観客席スピーカー

既存4台を更新し、2台増設する。

・スコアボードスピーカー

スコアボード側面に設置されている既存非常放送設備のスピーカー2台を更新し、スタジアム音響アンプと共用、かつ単独で音量調整を行えるように変更する。また、スコアボード裏手方向2台のスピーカーとは回線を分け、スタジアム音響の放送は流れないようにする。

・駐車場及びテニスコートスピーカー

呼び出し用のスピーカーを増設する。

3) 配線

・館内スピーカーの幹線系統及び観客席系統を更新する。

・スコアボード系統の幹線配線を更新し、スコアボード内の系統を2系統にする。

・駐車場及びテニスコート系統を追加する。配線系統は防球ネット柱に架空配線とする。

5 成果品

受託者は業務の成果として、以下の成果品を作成し提出するものとする。

(1) 設計報告書(A4版) 3部(黒表紙金箔文字製本2部、ファイル綴じ1部)

※見積りは「7 メーカーリスト」のうちの3社以上とし、仕様は3社以上を満たすこと

(2) 設計図書 2部

※下記資料ほか監督員の指示するもの

・電気設備設計計算書

・電気設備工事積算数量算出書

・電気設備工事積算数量算出書のうち電気設備工事積算数量調書

・見積書等関係資料

・単価資料

(積算数量調書、単価資料等の作成は、営繕積算システム RIBC2((一材)建築コスト管理システム 研究所)「内訳書作成システム」による)

(3) 設計図(配置図、系統図、平面図、いずれも A3 版、ほか監督員が指示するもの) 2部

(4) 電子データ(報告書、設計図等) 2部

※原則 PDF 形式とし、設計図は CAD 形式とする

(5) その他監督員が指示するもの

6 貸与資料

・監督員との協議により市が貸与可能な資料

7 メーカーリスト

(株) JVCケンウッド TOA(株) パナソニック(株) ユニペックス(株) (五十音順)

電子データ作成に係る詳細事項

1 電子データ格納媒体

- (1) 提出を受けた電子データの原本性を確保するため、提出する媒体には格納データの書き換えが不可能な CD-R のみを使用する。(CD-RW、DVD は不可)
- (2) 1 枚の CD-R に格納することを原則とし、収まらない場合は各媒体のラベルに何枚目/総枚数を明記する。
- (3) CD-R は、ISO9660 フォーマット (レベル 1) を標準とする。

注.) 「ISO9660」は、汎用性が高い CD-R/RW 用の標準フォーマット規格である。

この規格は、ファイル名として使用可能な文字数に応じてレベル 1～3 が規定されている。

この他に、Windows95/98/NT 用に Microsoft が ISO9660 を拡張した「Joliet」Macintosh 用の独自フォーマットである、「HFS」、UNIX 系の OS 用の ISO9660 を拡張した「RockRidge」などがあるが、本業務では利用しないこと。

2 ウィルスチェック

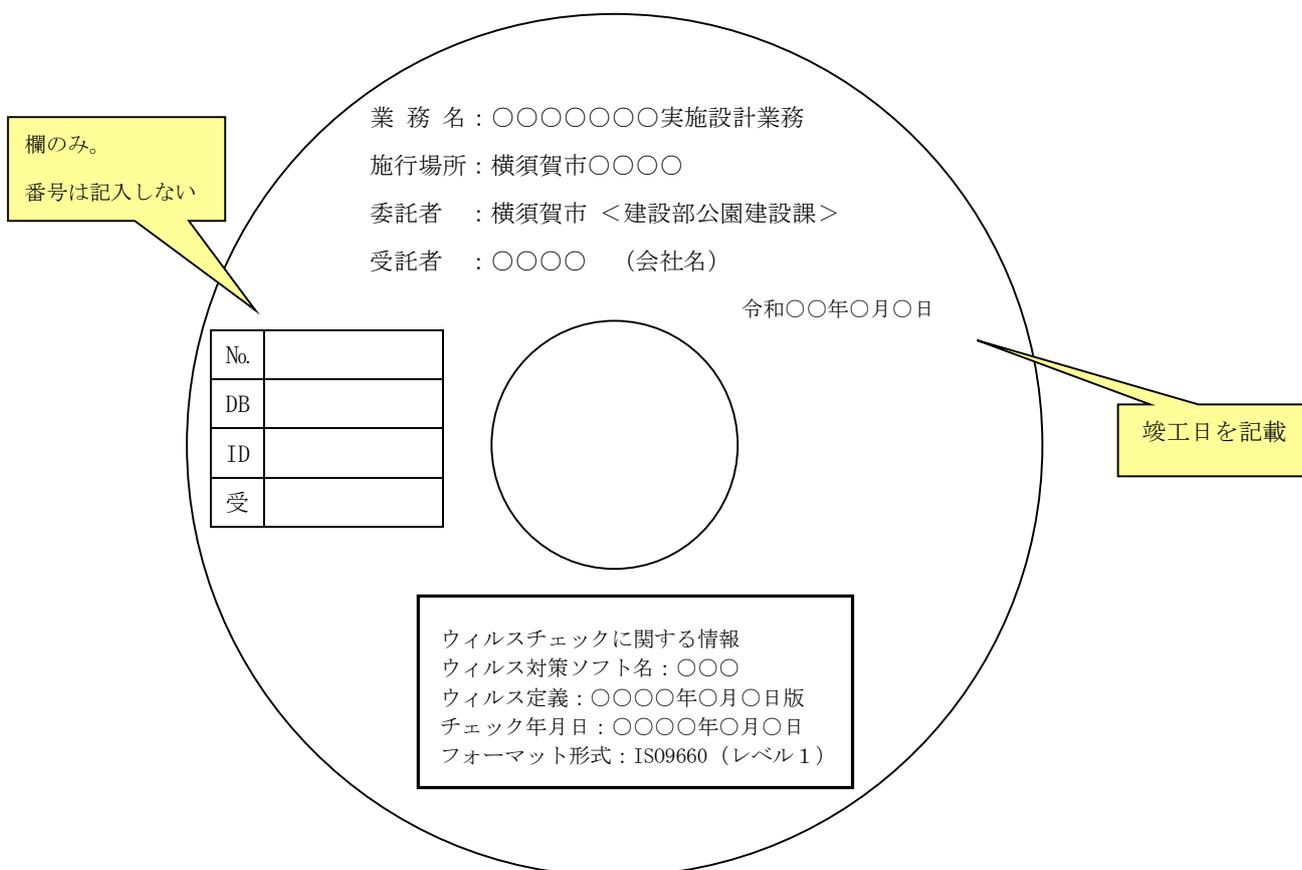
- (1) 受託者は、成果品の電子データの格納が終了した時点で、確実にウイルスチェックを行うこと。
- (2) ウィルス対策ソフトは特に指定しないが、シェアの高いものを使用し、最新のウィルスも検出できるように、常に最新のデータに更新したものを利用すること。
- (3) CD-R の表面には、「使用したウイルス対策ソフト名」、「ウイルス (パターンファイル) 定義年月日またはパターンファイル名」、「チェック年月日」を明記すること。

3 ラベル作成

- (1) 提出する媒体には、次ページの「提出媒体のラベル表示例」の通り、各項目を表示すること。
- (2) 表示方法については、専用プリンタを用いた CD-R 表面への直接印字、ラベルシートに印字し直接貼り付け、油性マジック等での書き込みとする。

注.) ボールペン、鉛筆など硬質な筆記具の使用は CD-R を破損させ、読み取り不能となる恐れがあることため使用不可とする。

提出媒体のラベル表示例



提出媒体ケース背表紙表示例

〇〇〇〇〇〇〇〇〇実施設計業務

令和〇〇年〇月〇日

竣工日を記載

個人情報の取扱いに関する特記事項

(個人情報を取り扱う際の基本的事項)

第1条 受託者（以下「乙」という。）は、個人情報の保護の重要性を認識し、業務に関して個人情報を取り扱うときは、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適正に取り扱わなければならない。

(適正な管理)

第2条 乙は、個人情報の漏えい、滅失、改ざん、き損及びその他の事故を未然に防止するため必要な措置を講じなければならない。

2 乙は、個人情報の取扱いに関する責任体制を整備し、管理責任者を定めなければならない。

3 乙は、個人情報の保管にあたっては、この契約による業務により取得した個人情報とそれ以外の個人情報を明確に区分し、管理しなければならない。

(管理責任者等の教育及び研修)

第3条 乙は、個人情報の保護及び情報セキュリティに対する意識の向上を図るため、管理責任者及び従事者に対し、横須賀市個人情報保護条例第14条（受託者等の責務）、第32条及び第33条（罰則）の内容並びに本特記事項において従事者が遵守すべき事項その他この契約による業務の適切な履行に関し必要な事項について、教育及び研修を実施しなければならない。

(秘密の保持)

第4条 乙は、個人情報の内容を第三者に漏らしてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

2 乙は、この契約による業務の処理の従事者が個人情報を管理責任者の承諾を得ることなく事務所以外の場所に持ち出し、又は不適切な取扱いにより第三者に漏らすことのないように、必要かつ適切な監督を行わなければならない。

(収集の制限)

第5条 乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を収集するときは、その目的を明確にし、当該目的の達成に必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。

(目的外利用等の禁止)

第6条 乙は、委託者（以下「甲」という。）の指示又は承諾があるときを除き、この契約による業務の目的以外の目的に個人情報を利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写等の禁止)

第7条 乙は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、業務を実施するために甲から提供された個人情報を複写し、又は複製してはならない。

(資料等の返還)

第8条 乙は、この契約による事務を処理するために甲から貸与され、又は乙が収集し、複製し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約が終了し、又は解除された後直ちに甲に返還し、又は引き渡し、若しくは消去しなければならない。ただし、甲が別に指示したときは、当該方法によるものとする。

2 乙は、前項の規定により電子記録媒体に記録された個人情報を消去する場合は、当該個人情報が復元できないように確実に消去しなければならない。

3 乙は、前項の規定により個人情報を消去した場合は、当該個人情報を消去した旨の報告書を甲に提出しなければならない。

(再委託の禁止等)

第9条 乙は、個人情報の処理を自ら行うものとし、第三者にその処理を委託（以下「再委託」という。）してはならない。ただし、書面により甲の承諾を得た場合は、この限りでない。

2 乙は、個人情報の処理を再委託する場合及び再委託の内容を変更する場合は、あらかじめ次の各号に規定する事項を記載した書面を甲に提出し、前項ただし書きの承諾を得なければならない。

(1) 再委託の相手方

(2) 再委託を行う業務の内容

(3) 再委託で取り扱う個人情報

(4) 再委託の期間

(5) 再委託が必要な理由

(6) 再委託の相手方における責任体制及び管理責任者

(7) その他甲が必要と認める事項

3 乙は、前項の規定により個人情報を取り扱う事務を再委託の相手方（以下「再受託者」という。）に取り扱わせる場合には、乙と再受託者との契約内容に関わらず、再受託者の当該事務に関する行為について責任を負うものとする。

4 乙は、再委託契約において、再受託者に対する監督及び個人情報の安全管理の方法について具体的に指示しなければならない。

5 乙は、この契約による業務を再委託した場合は、その履行を監督するとともに、甲の求めに応じて、再受託者の状況等を報告しなければならない。

(立入調査等)

第10条 甲は、個人情報を保護するために必要な限度において、乙に対し、個人情報を取り扱う事務について管理状況の説明若しくは資料の提出を求め、又は乙の事務所に立ち入ることができる。

2 乙は、甲から個人情報の取扱いに関して改善を指示されたときは、その指示に従わなければならない。

(事故発生時等における報告)

第11条 乙は、個人情報の漏えい、滅失、き損及び改ざん等の事故（以下「漏えい事故」という。）が生じ、又は生ずるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従わなければならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

2 乙は、漏えい事故が生じた場合、当該事故の被害を最小限にするため、甲と協力して必要な措置を講じ、かつ、甲の指示に従わなければならない。

(補則)

第12条 乙は、この契約における個人情報の取扱いについて疑義が生じたときは、甲と協議し、その指示に従わなければならない。

積算諸条件調書に係る追加事項

1 市独自単価及び積算における補足資料について

本設計積算書内（市独自単価一覧表）に記載の資材単価は、「ホームページ（工事積算情報）」の「市独自単価一覧表（土木工事編）」に掲載しています。又当該頁に併せて積算における補足資料も掲載しています。

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/5510/koujitousekisann.html>

2 市場単価の端数処理について

市場単価方式による単価表の加算・補正後の金額は、円止めとする。

なお、単価補正が行われた場合の単価は、小数点以下第2位（小数点以下第3位四捨五入）まで計算し、数量×単価＝金額を算出している。

3 基準書等の適用について

本業務は、以下の基準書等を使用し、積算している。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1) 設計業務等標準積算基準書 | 令和4年7月1日版 |
| 2) 積算参考資料（計画・調査編） | 令和4年7月1日版 |
| 3) 建設機械等損料表 | 令和4年度版 |

令和 04 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)

設 計 書 番 号	年度 04	
事 業 所 名	横須賀市建設部	
(工 事 ・ 業 務) 名	追浜公園硬式野球場音響設備改修実施設計業務	
(工 事 ・ 業 務) 箇 所	横須賀市夏島町 2 番 2	
(河 川 ・ 路 線 ・ 区 域) 名	追浜公園	
単 価 採 用 地 区 名	横須賀	
事 業 区 分	国費	
工 期	120 日間	
設 計 金 額	(円)	
	円	
設 計 概 要		
(起 工 ・ 変 更) 理 由		

令和 04 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)

<支出科目>

款	09 土木費
項	05 都市計画費
目	05 公園新設改良費
節	12 委託料
細節	57 工事請負に係る委託料 [建設目]

<合併区分情報>

合併処理設定	しない	
	区 分 1	
	区 分 2	
	区 分 3	
	区 分 4	
	区 分 5	
	区 分 6	
	区 分 7	
	区 分 8	
	区 分 9	

<全体金額情報>

	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1) 前回変更請負額(b2)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d)=(b1)/(a)×(c)	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
業務費						
業務価格						
消費税等相当額						

令和 04 年度 積算諸条件調書 (当初)

経費等情報	レ 設計業務	委託先 / α 、 β	建設コンサルタント / $\alpha=35\%$ 、 $\beta=35\%$		
		電子成果品作成費	計上する (詳細設計)		
		旅費交通費	計上する (設計)		
		安全費率	0.0%		
	測量業務	安全費率			
		電子成果品作成費			
		旅費交通費			
	地質・土質調査業務	電子成果品作成費			
		施工管理費			
		旅費交通費			
		安全費率			
	地質・土質調査業務(解析)	委託先 / α 、 β			
	港湾測量業務	技術経費率			
港湾磁気探査業務	技術経費率				
業務委託	諸経費率				
	技術経費率				
設計業務等標準積算基準書 適用年版		令和04年7月1日適用			
資材等単価表 適用年版		令和04年7月1日基準			
積算数量等情報	名称		採用数量	単位	備考
(その他情報欄)					

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
設計業務							
設計業務費			1	式			
設計業務			1	式			
設計業務			1	式			第 1001 号 内訳書
打合せ協議			1	式			第 1002 号 内訳書
旅費交通費(率計上分)			1	式			
電子成果品作成費(率計上分)			1	式			
直接原価計			1	式			
その他原価			1	式			
一般管理費等			1	式			
設計業務価格			1	式			
消費税及び地方消費税相当額			1	式			
業務委託料			1	式			

第1001号 内訳書
設計業務

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 詳細設計業務					第1001号下内
	1	式			
合 計					

第1002号 内訳書
打合せ協議

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0020) 打合せ協議					第1002号下内
	1	式			
合 計					

第1001号 下位内訳書
 AMA0010 詳細設計業務

1 式 当り
 適用年版 T0407
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) 現場調査	1	式			第1001号単価表
(SJ0020) 音域計算書作成	1	式			第1002号単価表
(SJ0030) 実施設計図作成	1	式			第1003号単価表
(SJ0040) 概算工事費の算出	1	式			第1004号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1002号 下位内訳書
 AMA0020 打合せ協議

1 式 当り
 適用年版 T0407
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0050) 打合せ	1	式			第1005号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第1001号 単価表
 SJ0010 現場調査

1 式 当り
 適用年版 T0407
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0405) 技師 (C)	4	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1002号 単価表
 SJ0020 音域計算書作成

1 式 当り
 適用年版 T0407
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0405) 技師 (C)	1	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1003号 単価表
 SJ0030 実施設計図作成

1 式 当り
 適用年版 T0407
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0405) 技師 (C)	18	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1004号 単価表
 SJ0040 概算工事費の算出

1 式 当り
 適用年版 T0407
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0405) 技師 (C)	8	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第1005号 単価表
 SJ0050 打合せ

1 式 当り
 適用年版 T0407
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0405) 技師 (C)	3	人			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

数 量 内 訳 書

工 種	細 別	単 位	数 量
設計			
設計業務費		式	1
設計業務		式	1
設計業務		式	1
詳細設計業務		式	1
	現場調査	式	1
	音域計算書作成	式	1
	実施設計図作成	式	1
	概算工事費の算出	式	1
打合せ協議		式	1
打合せ協議		式	1
	打合せ	式	1

